

国語科学習指導案

日時 令和元年5月22日(水) 2教時
生徒 北斗市立大野中学校2年B組27名
授業者 教諭 阿部 奈央美

1 単元名 図表を用いて提案する

2 単元について

本単元では、自分の考えを効果的に伝えるために、資料や機器を活用した提案の仕方を学ぶ。資料から自分の提案に必要な情報を取り出し、図表を用いて提案する学習活動を通して、構成や話し方を工夫して提案する力の育成を目指す。

提案の題材は、「北斗市の魅力度を高める観光アイデア」とする。生徒は、第1学年で取り組んだ職場体験活動により、北斗市の産業に触れている。そして、今後は「宿泊研修」で函館市の歴史や文化の調査活動、「修学旅行」で北斗市PR活動などに取り組む予定である。本題材は、このような活動につながる身近な題材であり、当事者意識をもって取り組めるものとする。資料は、市の観光協会が発行している「北斗市観光振興プラン」を用いる。

3 単元の目標

知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力
わかりやすく提案するための構成および話し方の工夫について理解する。	わかりやすく提案するために、機器を活用して要点を示したり、数値や接続語を用いたりして効果的な話し方ができる。	わかりやすい提案にするために、対話や録画によって発表を改善しようとしている。

4 生徒について

1年次実施のNRT検査の平均正答率は、「考えの理由をあげて話す」66%（全国71%）、「構成についての理解」77%（全国79.1%）であった。また、本単元の第1時に実施した学力状況調査（2019）の抽出問題で、グラフの数値をあげて話し言葉で説明することのできた生徒の割合は26.9%であった。このことから、自分の提案の根拠となる図表や数値を資料から取り出し、効果的に伝えるために構成や話し方を工夫することを指導の重点とする。

5 単元の指導と評価の計画

(1) 単元における学習課題

全国都市魅力度調査において、函館市は3年連続ナンバー1に輝きました。新幹線開業もあり、北斗市にもたくさんの人が観光に訪れています。課題もあります。そこで、北斗市の観光の課題や北斗市の観光資源を踏まえ、北斗市の魅力度を高める観光アイデアについて、「北斗市観光振興プラン」を読んでいない人にもわかるように2分程度で提案しましょう。

(2) ルーブリック

	発表に関わること			資料に関わること	
	①声	②目線・態度	③動作・言葉	④情報	⑤構成
A	相手にわかりやすいように間や抑揚に気を付けながら、はっきりと聞きやすい声で発表している。	相手と目線を合わせながら発表している。 (発表資料は見てよい)	注目してほしい所を指し示したり、接続語を用いて強調したり話の流れを分かりやすくして発表している。	図表の数値を取り上げて提案理由(根拠)を示し、1分45秒～2分15秒にまとめている。	提案と提案理由(根拠)を、5つのスライドに見やすくまとめている。提案内容とその根拠が理解できる構成になっている。
B	部分的に間や抑揚に気を付けたり、ところどころ聞こえない声で発表したりしている。	原稿にとりどころ目を落としながら発表している。(4回まで)	話に合わせてジェスチャーを使っているが、タイミングがずれている。話の流れが途切れている。	図表を用いて提案理由(根拠)を示し、1分45秒～2分15秒にまとめている。	提案と提案理由(根拠)を5つのスライドにまとめている。提案内容とその根拠が理解できる構成になっている。
C	聞き取りにくく、間や抑揚に工夫がない。	相手を見ず、原稿を読んで発表している。	図表やジェスチャーを話に合わせて活用していない。	図表を用いているが、提案と根拠が合っていない。資料を正しく読み取っていない。時間の過不足。	提案理由(根拠)が明確に示されていない。5つのスライドにまとめている。

(3) 指導と評価の計画 (6時間計画)

時間	学習内容	【評価の観点】 評価規準《評価方法》	学習課題 (■) と主な学習活動 (○)		
1	単元の見通しをもつ	【学】提案の目的を理解し、提案内容を考えている。《ポートフォリオ》	■課題と単元の学習の流れを知り、提案内容を決めよう。 ○学力状況調査(2019)の抽出問題に取り組む。 ○教師のプレゼンテーションを聞く。 ○「北斗市観光振興プラン」を読み、提案内容を決める。		
			主体的な学び	対話的な学び	深い学び
2	提案資料を作る	【知】提案の根拠となる情報を資料から取り出し、資料を作成する。《観察・ポートフォリオ》	■資料から必要な情報を取り出し、見やすくわかりやすい発表資料を作ろう。 ○不十分な提案資料を見て、改善点を考える。 ○わかりやすい資料の条件を踏まえ、図表と見出しを入れて資料を作成する。		
			主体的な学び	対話的な学び	深い学び
3	資料を推敲する 台本を作る	【思】提案を効果的に伝えるための構成や提示の仕方を考えて資料を推敲し、台本を作成している。《絵コンテ・ワークシート》	■聞き手にとってわかりやすい構成を考え、台本を作ろう。 ○構成の異なる3パターンの発表資料を比較し、聞き手にとってわかりやすい発表の構成を考える。 ○プレゼンテーションの言葉遣いについて知り、台本を作る。 ○NHK高校講座国語表現の動画を視聴する。		
			主体的な学び	対話的な学び	深い学び
4	発表を推敲する 発表練習をする	【思】図表などの資料を活用し、数値や接続語を用いて説得力のある話し方ができる。《観察・VTR・ポートフォリオ》	■数値や接続語を用いて、説得力のある話し方をしよう。 ○2つの発表動画を比較し、聞き手にとってわかりやすい話し方について考える。 ○相互評価・自己評価をし、さらに説得力のある話し方ができるよう練習する。		
			主体的な学び	対話的な学び	深い学び
5	発表する	【思】ルーブリックの基準を満たしたプレゼンテーションができています。《観察・VTR・ポートフォリオ》	■北斗市の魅力度を高める観光アイデアについて、「北斗市観光振興プラン」を読んでいない人にもわかるように2分程度で提案しよう。 ○前時で定めた自分の課題をもとに、発表練習を行う。 ○グループでの発表を行い、説得力のあったプレゼンテーションをそれぞれ決める。		
			主体的な学び	対話的な学び	深い学び
6	単元の学習を振り返る	【知】わかりやすく提案するための構成および話し方の工夫について理解している。 【学】学習を振り返り、自分の成果と今後の目標を整理することができている。《ポートフォリオ・抽出問題》	■わかりやすく提案するための構成と話し方の工夫についてまとめよう。自分の成果と今後の目標を整理しよう。 ○学力状況調査(2019)の抽出問題に取り組む。 ○構成と話し方の工夫についてまとめる。 ○ポートフォリオと、3～5時間目に録画した発表動画を見ながら、自分のプレゼンテーションについて振り返り、成果と今後の目標を整理する。		
			主体的な学び	対話的な学び	深い学び

6 本時案 (4/6)

(1) 本時の目標

○図表などの資料を活用し、数値や接続語を用いて説得力のある話し方ができるようにする。

(2) 本時の評価

	評価基準	十分満足できる (A)	努力を要する生徒への手立て (C)
「思・判・表」	図表などの資料を活用し、数値や接続語を用いて説得力のある話し方ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・提案の根拠となる数値をあげ、身振りを加えて説明できる。 ・接続語を用いて、聞き手の注目を集めたり、話の流れを示したりするなど話し方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションモデルと話型を参考に促す。 ・提案の根拠となる数値を見つけさせたり、接続詞を入れるとよい箇所について個別に指導したりする。

(3) 本時の展開

段階	学習活動	※教師の支援◇留意点◎評価
導入 8分	<ul style="list-style-type: none"> ○改善前後の2つのプレゼンテーションモデルを比較し、どのような点が改善されているか考える。 ○学習課題を確かめる。 ◎数値をあげたり、接続語を用いたりして、説得力のある話し方をしよう。 ○提案の説得力を高めるよう、練習を行いながら効果的な話し方を身に付けていくことを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇一人一台タブレットを準備する。 ※生徒が気づきにくいところは、動画を止めたり、繰り返したりして対応する。 ※数値をあげること、接続語を用いることの効果を確認する。 ※ルーブリック③・④を意識して取り組むよう話す。
展開 35分	<ul style="list-style-type: none"> ○数値の説明の仕方を練習する。 ○前時の自分の発表録画を見ながら、接続語や数値の説明を絵コンテに付け加える。 ○ペアになり、ルーブリックをもとに相互評価を行いながら、発表の練習をする。何度かペアを入れ替えて練習する。 ○発表を録画する。 	<ul style="list-style-type: none"> ※数値の部分の指示しながら話すようにする。話型と接続語の一覧を示し、話し方を確認する。 ◎数値や接続語を用いて説得力のある話し方をしている。《観察・VTR・ポートフォリオ》
終末 7分	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の自分の発表録画を見て、ルーブリックをもとに自己評価する。 ○1枚ポートフォリオに振り返りを記入し、次回の学習内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ※次回の発表に向けて、自分の発表の修正点を確認するよう促す。